



通信

HP 学校だより
R5. 6. 30
NO. 13
文責 伊藤美佳



野外活動に向けて

5年生の野外活動が7月4日（火）、5日（水）にあります。1カ月前から、実行委員を決め、スローガンを掲げ、必要な係に分かれて活動しています。

今年度のスローガンは

①切りかえができて ②けんかがない ③助け合いのできる

笑顔いっぱい楽しいキャンプにしよう

です。自分たちに必要な力を考えて、このスローガンに決めました。

さて、子どもたちの考えるスローガンから見えてくるものは・・・

① 切りかえができて

切りかえ→今、何をやる時か、何をすべきか、次は何をするのか、そのためにどうすればいいのかを自分で考え、判断して行動に移すということです。この力は、授業中はもちろんですが、社会に出ても必要な力です。この力をつけていくには、まずは、見通しをもつことが必要ではないでしょうか。次にすることが分かっていることで、今、どうすればいいのかも考えられるようになるでしょう。

② けんかがない

けんか→お互いの思いや考えが違い、分かり合えないことで起こります。これは、しっかりと話し合い、相手の考えを受け入れることができると、なくなるかもしれません。相手の考えを受け入れるというのは、相手に従うのではなく、そういう考え方もあるんだと受容することです。なかなかできるものではありませんが、多様な考え方があることを知ることだけでもすてきな学びとなるでしょう。

③ 助け合いのできる

助け合い→そのためには、「困っている」と言えること大切です。困っていても黙っていても気付いてもらえません。「あこがれ」の「こ」ができるとよいです。野外活動は、初めて行く場所で、自分たちですべてを行います。野外炊飯、ベッドメイキング、片付けなど、家ではやっていないことを自分たちだけでやりきらなければなりません。自分でできないことは人に教えてもらい、教えてくれた人に感謝する。そして、自分もできることをして人を助ける。人と人とのつながりができる「助け合い」、ぜひ実行してほしいです。友達の大切さ、助け合いの必要性を肌で実感できるでしょう。

こういった多くの学びは、自分たちでやるからこそ実感できます。自分たちで目標を決め、それに向けて意識を高め、達成していけると自信がもてます。失敗をしても誰かが助けてくれたり、支えてくれたりするから「大丈夫」と思えます。子どもたちには、たくさん「大丈夫」を感じてほしいです。

5年生が野外活動を通して、さらに成長してくれることを期待します。そして、他の学年の子どもたちも、自分たちの目標、自分の目標を決めたら、「がむしゃら」に突き進んでほしいです。